

大阪経済記者クラブ会員各位

スポーツ庁連携「地域版 SOIP」事業 採択案件の実証事業について
～スタジアム周辺の渋滞や混雑の緩和、地域住民の健康増進に向けた
シェアサイクルの需要や効果を検証～

【お問合せ】大阪商工会議所 産業部（倉骨、東）
TEL：06-6944-6403

大阪商工会議所が展開するスポーツ産業振興プラットフォーム「スポーツハブ KANSAI」は、スポーツ庁との連携により実施する「地域版 SOIP（スポーツオープンイノベーションプラットフォーム）」事業※において採択された実証実験の第1号案件として、ガンバ大阪と OpenStreet 株式会社による実証実験を、12月4日(土)にパナソニックスタジアム吹田で実施する。実証実験では、スタジアム周辺の渋滞や混雑の緩和、地域住民の健康増進といったガンバ大阪の課題解決に向けて、シェアサイクルの活用が果たす効果を検証する。

- 「地域版 SOIP（スポーツオープンイノベーションプラットフォーム）」は、地域のスポーツチームが提示する協業ニーズに対して、スタートアップ企業等からの事業提案を募集し、マッチングからインキュベーション、実証実験までを支援するアクセラレーションプログラム。大阪商工会議所は、関西エリアの運営協力事業者としてスポーツ庁と連携し、同事業を推進している。
- ガンバ大阪（サッカー）、NTT ドコモレッドハリケーンズ大阪（ラグビー）、関西学院大学競技スポーツ局（学生スポーツ全般）の3つの競技団体の協業ニーズに対し、全89件の事業提案が寄せられ、11月5日～6日にかけて実施されたピッチ・選考イベントを経て、4件の提案が採択された。（採択案件一覧は次頁参照）。
- 本会議所は、実証実験における検証や、地域版 SOIP のモデル地域である関西、北海道、中国、沖縄エリアをはじめとする地域間の連携等を通じて、他のスポーツ団体への横展開や、実装支援を継続して行っていく。

<ガンバ大阪 実証実験概要>

○日 時：12月4日（土）10：00～17：30

○場 所：パナソニックスタジアム吹田（吹田市）

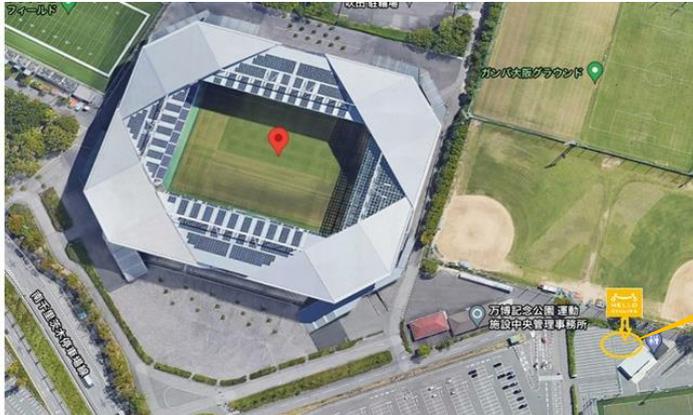
○実施目的：

- ・試合日におけるスタジアム周辺駐車場の混雑、周辺道路の渋滞
- ・駅からスタジアムまでの移動体験を向上させる取り組み
- ・スポーツを通じた SDGs の推進と地域課題の解決

等のガンバ大阪の課題に対して、OpenStreet が展開するシェアサイクルプラットフォーム「HELLO CYCLING」を活用して、交通渋滞の緩和、利用客の健康意識の向上を実現することを目指し、その需要や効果を検証する。

○実証内容：

- ・スタジアムに隣接する駐輪場にシェアサイクルの臨時ポートを100台設置
- ・スタジアム周辺の駅や吹田市内のポートからサイクリングでの来場を促進する
- ・利用者の行動データを検証することで、ガンバ大阪のマーケティングに活用する



(写真：パナソニックスタジアム吹田（左）とシェアサイクル駐輪スペース（右）)

<地域版 SOIP 採択案件一覧>

ガンバ大阪

① OpenStreet 株式会社

／スタジアム周辺の混雑緩和、地域住民の健康増進に向けたシェアサイクルの活用

NTT ドコモレッドハリケーンズ大阪 ※年度内に実証実験を実施予定。

② CBC 株式会社

／AI を活用した新たな観戦体験サービスの開発

③ リアルワールドゲームス株式会社

／新たなファン獲得とスタジアム周辺の地域活性化を実現するまち歩きアプリの展開

関西学院大学 競技スポーツ局 ※年度内に実証実験を実施予定。

④ オンキョースポーツ株式会社

／学生アスリートのパフォーマンス向上につながる栄養管理サポートシステムの構築

※「地域版 SOIP (スポーツオープンイノベーションプラットフォーム)」事業

スポーツ庁では、スポーツの価値を活かして新たな財やサービスを創出する基盤として「スポーツオープンイノベーションプラットフォーム (SOIP)」を展開しており、様々な地域における SOIP の構築を促進することで、スポーツ産業振興に向けた取り組みを日本全体で活性化させる「地域版 SOIP」事業を推進している。大阪商工会議所は同事業に7月に関西エリアの運営協力事業者として採択された

以上